

景観自然室まちづくり推進班が過去、定期的に発行していた「まちづくりニュースレター」ですが、しばらく休眠状態でした。今回、大幅にリニューアルして、新たな便りを皆さんにお届けします。また、HPでも情報を更新していきます。仕事の合間に、息抜きがてら目を通していただければ幸いです。皆さんが、大分県を、もっともっと好きになりますように・・・

1. まちづくり事例紹介

大分県内では、まちづくり事業にて、29の地区でまちづくりが進められています。皆さんご存じの、豊後高田“昭和の町”地区や、別府の鉄輪温泉地区等もその一つです。今回は、これからの成長が楽しみな2つの地区をご紹介します。天瀬温泉地区（日田市天瀬町）、森地区（玖珠町）の2つです。

天瀬温泉地区（日田市）

天瀬温泉地区（日田市天瀬町）は、まちづくり交付金（通称：まち交）にて、H19～H23の5ヶ年での整備を行っています。1300年の歴史を持ち、別府・湯布院と合わせ豊後3湯と呼ばれていた天瀬温泉街は、昨今徐々に客足が遠のき、まちの元気がなくなってきていました。それでも、あゆ釣りシーズンには賑わいを見せ、桜滝・慈恩の滝等の癒しの場、天瀬ならではの川沿い露天風呂や散策路といった他の地域にない“たからもの”が多く点在しています。何よりJR天瀬駅から徒歩3分「歩いて行ける温泉街」として、県内随一の立地条件です。



川から見る温泉街



露天風呂



そば饅頭



桜滝

最近では、KBCの番組「ドーモの夏祭り」でも取り上げられ、また、駅に“手湯”も整備され、少しずつですがまちが元気を取り戻しつつあります。川の中の露天風呂、ちょっと恥ずかしさもありますが、とても気持ちよく絶景ですので、ぜひ一度は体験することをオススメします。残り4年弱の事業のなかでどのようにまちが育っていくのか、皆さんもちょくちょく足を運んでいただいて、一緒に見守っていただけたらと思います。



軒先市



街なみ



きんぽ

2. アートとまちづくり

まちづくりは、“熱い”想いが一番大切で、それを持ち・燃やし続けることができなければなかなかうまくいきません。まちは、時代とともに生まれ、年を重ね、場合によっては衰え無くなっていくこともあります。一過性のものでなく、またそれは次の時代へと延々とつながる、まるで命の連鎖のようです。つまり僕らと同じように生きているものなのです。そして、このまちづくりを進めていくには、真剣さ・必死さも重要ですが、何より、こころに適度な“ゆとり”がなければいけません。ゆとりを持った時にひとが求めるものは、何でしょう？きっと、物質的欲求ではなく、精神的欲求＝文化的活動ではないでしょうか。それはまちづくりそのもので、そしてその最たるものの1つが、芸術・アートです。

今回は、まちづくりと芸術・アートとの関わり方について、ちょこっとご紹介したいと思います。今月9月13日から11月30日までの計79日間、横浜（みなとみらい周辺）にて『横浜トリエンナーレ』が開催されます。トリエンナーレは3年に1回の芸術の祭典です。

編集後記・・・

まち班には、強い個性とハートを持った人間がそろっております。同じルーム内には、観光交流や地域振興を担当する班もあり、そちらにもこれまた独特なオーラを持つ職員が並んでおり、きっと訪れる人には、“何か”が見えるはず。建築・土木・観光・福祉・教育・商業等、ありとあらゆる全てに、「まちづくり」という言葉はあてはまり、すべての業務とつながっています。このレターが皆をつなぐきっかけになれば・・・

まちづくり関連のご相談等がありましたら、まち班まで気軽にお越しください。まちづくり3人衆がお待ちしております。

森地区（玖珠町）

森地区（玖珠郡玖珠町）は、街なみ環境整備事業（通称：街環）にて、H15～H24の10ヶ年での整備を行っています。森地区はどこにあるかご存じでしょうか？大分自動車道の玖珠ICを降りて、右手に曲がります。（ちなみにICを降り、左手に進むと、背景にある、「機関庫」のある風景が見えて来ます。）約3分ほど進むと、江戸時代の街なみが復元されつつある、趣ある街なみへたどりつきます。ここが森地区です。

人間の視覚は、その構造上15°程度、下に傾いています。つまり、街なみの印象は、道路と建物1F部分でほとんど形成されると言えます。この考えに基づき、森地区では、街なみ散策のための路地や通路の美装化整備を中心とし、道路脇のせせらぎ＝水路整備や町屋等の建物の修景＝お化粧直し等をおこない、江戸の街なみの雰囲気づくりに積極的に取り組んでいます。また、綺麗な趣ある街なみの雰囲気を少しでも多くの人に味わい・楽しんでもらえるように、毎月5日には、『軒先市』も開催されています。地域内外から多くの方が訪れるようになり、少しずつまちづくりの効果が目に見え始めているところです。場所は少し離れていますが、「機関庫」周辺の整備も今年度から徐々に進められるため、玖珠町のこれからの期待大です。

